



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.858 2012年11月12日

ARIBからのお知らせ

第102回電波利用懇話会開催のお知らせ
「現行受信機(2D)と互換性のある3DTV放送技術について」

立体テレビ(3DTV)放送は新しいサービスとして期待され、現在、複数の3DTV放送技術の研究開発が国内・外で行われています。

日本では既にサイドバイサイド方式と呼ばれる技術で実施されていますが、これは左右の映像を水平方向に圧縮し1画面に収めて放送しており、水平解像度が半分になるほか、現行2D受信機では、縦長の左右映像が1画面内に表示されてしまうという問題があります。

このような問題を解決する新たな3DTV放送技術の一方式として、現行受信機ではフルスペックハイビジョンの2D映像を受信でき、本方式に対応した3D受信機ではフルスペック3Dハイビジョン映像を楽しめる「現行受信機(2D)と互換性のある3DTV放送技術:仮称Advanced Stereo 3D(AS3D)」が提案されています。

本方式では、左目の映像は現行受信機にも対応するようMPEG2に準拠しつつ、フィールドピクチャー構造モードを利用して画質劣化なく約65%のビットレートで伝送します。

右目の映像はH.264で圧縮し、残る35%のビットレートで伝送します。

今回の電波利用懇話会では、本提案技術の研究開発に携わっている西田様をお招きして、下記によりご講演をいただきます。会場では、従来のサイドバイサイド放送と比べて、解像度だけでなく画質も改善される様子を動画でご覧いただけます。

会員の皆様には、ぜひご参加下さいますようご案内申し上げます。

記

- 1 日時 : 平成24年11月30日(金) 午後2時から3時30分まで
- 2 場所 : 一般社団法人電波産業会 第2・3会議室
東京都千代田区霞が関1-4-1日土地ビル11階 TEL:03-5510-8592
- 3 題名 : 「現行受信機(2D)と互換性のある3DTV放送技術について」
- 4 講師 : ㈱NHKメディアテクノロジー エグゼクティブ・エンジニア 西田 泰章 様
- 5 対象 : ARIB正会員及び賛助会員
- 6 参加者 : 60名程度(定員になり次第締め切らせていただきます。)
- 7 申込先 : 当会ホームページ (<http://www.arib.or.jp/>) の「講演会等開催案内」まで
- 8 参加費 : 無料

- 9 問合せ先：企画国際部 電波利用懇話会事務局 芝山 まで
TEL: 03-5510-8592 E-mail:arib-seminar2012@arib.or.jp

総務省からのお知らせ

航空・海上無線通信委員会報告（案）に対する意見の募集 （3-50MHz 帯を使用する海洋レーダーの技術的条件）

【平成 24 年 11 月 6 日の総務省報道資料から】

情報通信審議会 情報通信技術分科会 航空・海上無線通信委員会（主査：三木 哲也 電気通信大学 企画調査室 特任教授）は、平成 24 年 5 月から 3-50MHz 帯を使用する海洋レーダーの技術的条件について検討を行ってまいりました。

このたび、委員会報告案をとりまとめましたので、本報告案について、平成 24 年 11 月 7 日（水）から平成 24 年 12 月 6 日（木）までの間、意見を募集することとします。

1 意見募集の対象

[情報通信審議会 情報通信技術分科会 航空・海上無線通信委員会報告（案）](#) 

2 概要

情報通信審議会 情報通信技術分科会 航空・海上無線通信委員会は、平成 24 年 5 月から、「3-50MHz 帯を使用する海洋レーダーの技術的条件」について検討を行っており、これまでの検討結果についてとりまとめたものです。

なお、「航空・海上無線通信委員会報告（案）」は、総務省のホームページ (<http://www.soumu.go.jp>) の「報道資料」欄及び電子政府の総合窓口[e-Gov] (<http://www.e-gov.go.jp>) の「パブリックコメント」欄に掲載するとともに、連絡窓口（航空・海上無線通信委員会事務局）において閲覧に供することとします。

3 意見募集の要領

[別紙](#)  のとおり

4 募集期限

平成 24 年 12 月 6 日（木）17 時（必着）（郵送については、同日必着とします。）

5 意見提出上の留意点

提出いただいた意見書については、意見、提出者の氏名（法人等にあつてはその名称）、その他の属性に関する情報については、後日公表する場合があります。

また、いただいた意見に対して個別の回答はいたしかねますので、その旨御了承願います。

6 今後の予定

意見募集の結果を踏まえ、報告をとりまとめる予定です。

【関係報道資料】

- ・[「3-50MHz 帯を使用する海洋レーダーの技術的条件」の審議開始（平成 24 年 4 月 25 日）](#)
- ・[「海上無線通信設備の技術的条件」のうち「3-50MHz 帯を使用する海洋レーダーの技術的条件」についての関係者からの意見聴取（平成 24 年 5 月 24 日）](#)

連絡先

【意見の募集について】

連絡先：航空・海上無線通信委員会事務局（総合通信基盤局 電波部 衛星移動通信課）

担当：保坂補佐、山下

住所：〒100-8926 東京都千代田区霞が関 2-1-2 中央合同庁舎 2 号館

電話：（直通）03-5253-5901 （代表）03-5253-5111 内線 5901

FAX：03-5253-5903

E-mail：maritime_atmark_ml.soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。送信の際には、「@」に変更してください。

【情報通信審議会について】

連絡先：情報通信審議会事務局（情報通信国際戦略局 情報通信政策課 管理室）

担当：竹中課長補佐、安藤調整係長

電話：（直通）03-5253-5957 （代表）03-5253-5111 内線 5957

FAX：03-5253-6063

国際標準化の動向

ITU-R でのデジタルテレビの研究 40 周年記念式典 40 years of digital TV advancements within ITU-R

1972 年のデジタル TV 放送および HDTV の研究開始から 40 周年を記念した式典が開催されました。SG6 名誉議長 Krivocheev 氏（ロシア）からこれまでの ITU-R での研究を振り返った講演、そして DVB 議長・FOBTV 副議長の Laven 氏（DVB）から将来のテレビジョン放送に関する講演がありました。

- 1 日 時：2012 年 10 月 30 日（火）16:00～17:30
- 2 場 所：ITU タワー B2F
- 3 参加者：事務総長、BR 局長、TSB 局長、TDB 次長、ITU-R SG6 議長ほか約 80 名（写真 1）



写真 1 壇上左から、TDB 次長、TSB 局長、BR 局長、事務総長、SG6 議長、Krivocheev 氏、Laven 氏、Wood 氏（WBU）、カウンセラー

デジタル TV の標準化に関わってきた ITU-R に対し、世界の標準化団体、放送連合等から記念の額が贈呈されることになり、ARIB も名を連ねることになりました（写真 2）。



写真 2 ITU-R に贈呈された記念額

編集後記

今年もしし座流星群の極大日が近づいてきました。日本での極大時刻は11月17日19時頃なので条件はあまり良くありませんが、見られれば1時間に10個程度出現する予測です。

流れ星ではありませんが、国際宇宙ステーション (International Space Station、ISS) が飛んでいるところを見られるということで、米航空宇宙局 (NASA) が9日から新しいサービスを始めましたので、ご案内いたします。

それは自宅からISSが見える時刻をメールで教えてくれるというサービスです。メールアドレスとおおよその位置を登録しておく、ISSが頭上を通過する数時間前にメッセージを送ってくれるというもの。指定された時刻に空を見上げれば、肉眼でISSが、金星のような大きさ明るさで高速で移動しているように見えるそうです。

メッセージの例は次のようなものです。

“ SpotTheStation! Time: Wed Apr 25 7:45 PM, Visible: 4 min, Max Height: 66 degrees, Appears: WSW, Disappears NE.”

登録はNASAのウェブサイト「spotthestation.nasa.gov」で行えます。

早速、登録してみました。メールが来るのが楽しみです。

(K.I.)



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-1 日土地ビル11F
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp